



ゆか×ケイ  
催眠

ミッション

MISSION!



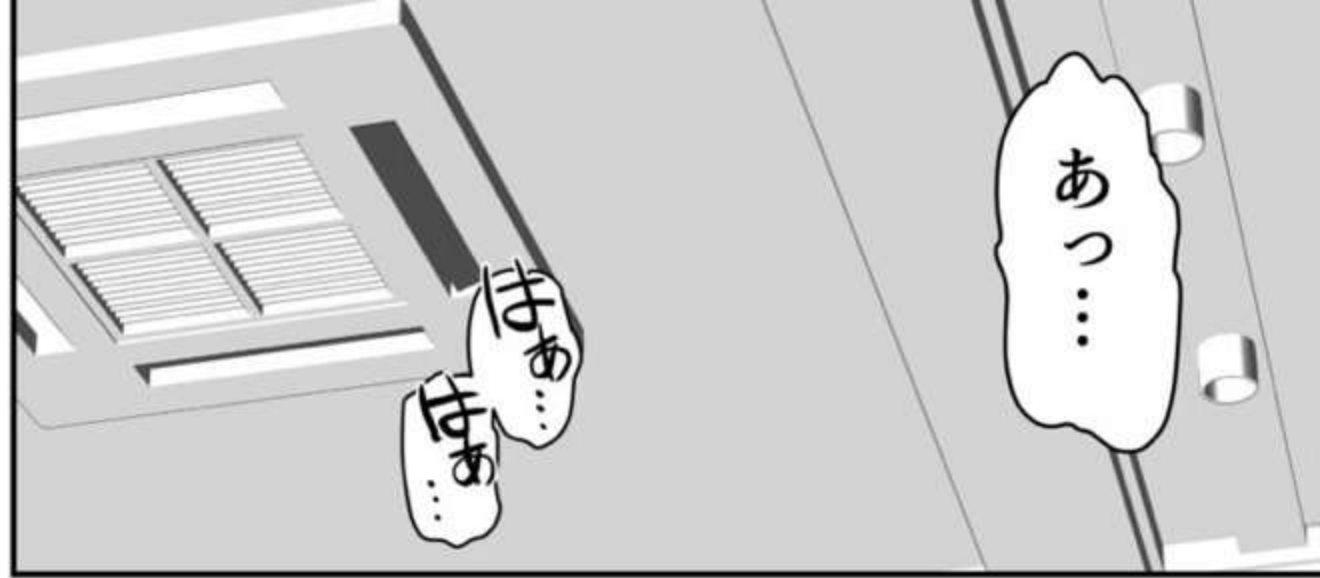
感じちや...

な  
なんで...?  
あっ  
それ

あっ  
ぽっぽっ

あ  
ぽっぽっ

ぽっぽっ  
ぽっぽっ



あっ...

ぽっぽっ  
ぽっぽっ



私がココに  
触れると

大事なところが  
熱くなる

あ♡

あ...

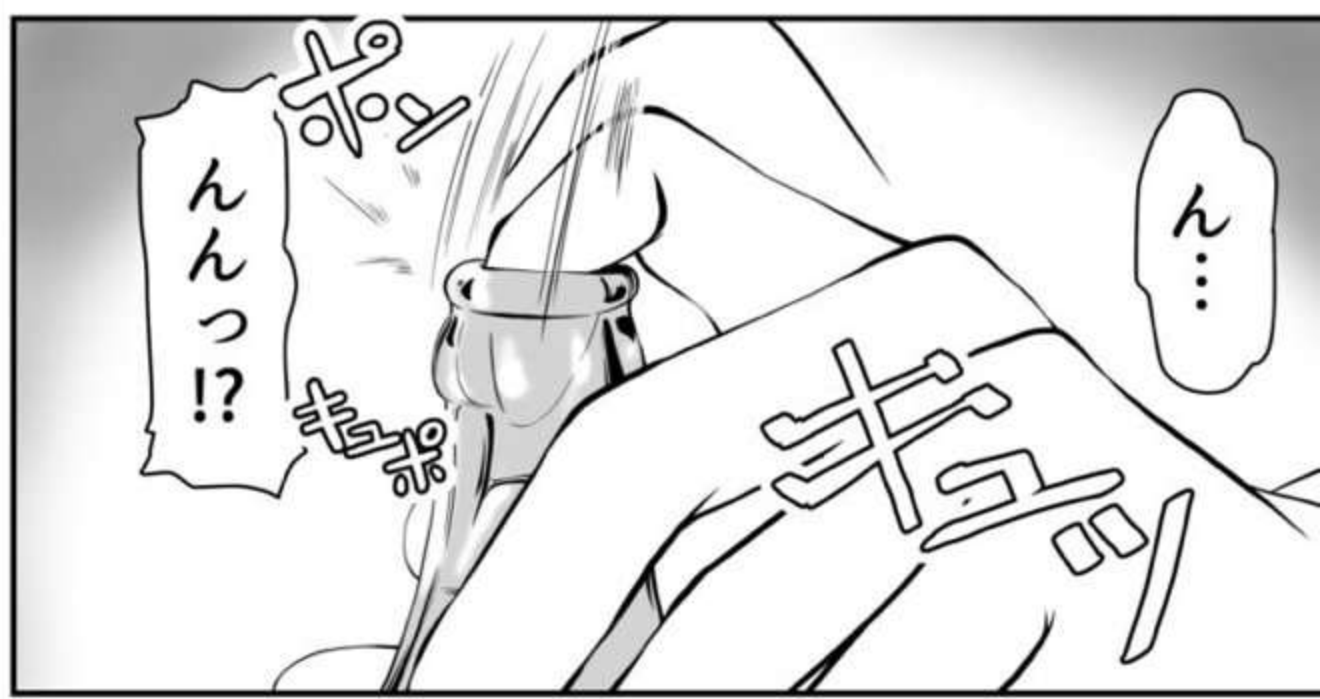
ぽっ

ぽっ...

ぽっ

ぽっ

ぽっ  
ぽっ



んんっ!?

ん...

ぽっ  
ぽっ

ぽっ  
ぽっ

ぽっ  
ぽっ



どんどん  
興奮が高まる

全身で感じる  
ことができる

ぽっ

ぽっ



はひひひ!

そんなの  
ダメ...

体の内側から  
ナデナデされて



触られても  
いないのに

やあ

神経を直接  
愛撫されてる  
みたいに...!



あなたの感情  
考え 全て

私に操られてる



それが最高に  
キモチいい...!

あれ...?  
どうして...

やめ...  
てえ...

こんなことに...

アハハ

ズズ...

ふんふん

イ...

イク時に私との  
運命を強く感じて

ふん

Oh...

あ...

私のために  
イッて下さい

Ah...  
ため

ふん



支配されたい



ふん...



ですよね？

コレは貴女が  
心から望んだ感覚



私にコントロール  
されたい

ケイさんは  
私に尽くしたい

欲しい...

はひ...

私に喜んでほしい  
欲求が止まらない

きんきん...



はっ

優しいキスで  
私を溶かしておいて

ユカリはいつも  
ズルい

ユカリとのプレイが  
変わってきた

何度かベッドインを  
重ねるうちに



貴女をここまで  
感じさせるのは  
誰ですか？

私の手が  
触れているのを感じて

そう  
ピク

瞳を見てください  
ケイさん

魔法の言葉を  
耳元で囁く



心を開くと  
とても強い興奮を  
覚えます

それは大きな喜び

んっ…  
ふっ  
ギョッ!

貴女は簡単に  
言うことができます

「私の心は  
優花里のものです」

んっ…  
ユカリい…



私に屈服する

幸せが胸に広がる

欲望

愛情

運命



私を見て

胸が昂ぶるのを  
感じてください

どうですか  
ケイさん？



何でもできる

ふわあ

ホッ

興奮が高まってくる  
欲望のためなら  
何でもする

何でもする

大丈夫ですよ  
私が貴女を満たします



もう  
貴女は私に

抵抗することは  
できない…

幸せで麻痺した頭の中に  
あの声が響くと

心が屈服して  
体が従ってしまおう

声を聞くのが  
幸せすぎて

何をしてるのか  
わからなくなる

Yes

oh

Ah

Ah...

ゴカリ...

ふわあ

ああ

もつと  
命令されたい

もつと服従したい

じろ...ん...

頭の中に快感を  
直接刻まれちやう

Ah

じりゃり

ヒ

ふるふる...

欲しくてもう  
どうしようもない  
あの絶頂

ほししい...  
もうヤメできない

いい人ですよ  
私を感じて

こんなの...  
ズルい...

さあ来て下さい  
ハイさんは思ひっきり  
イワことが出来る

私はあなたを  
幸せにします

ん…♡

さす

さす…

あなたは私のためなら  
何でもします

なんでも…

私…するう…

言つてください  
ケイさん

貴女は私の  
従順なペット

は…い…  
ユカリのために  
何でもする…

もつと飛べる  
もつとイク

私が触れると  
一番高い天国へ  
飛ばされる…

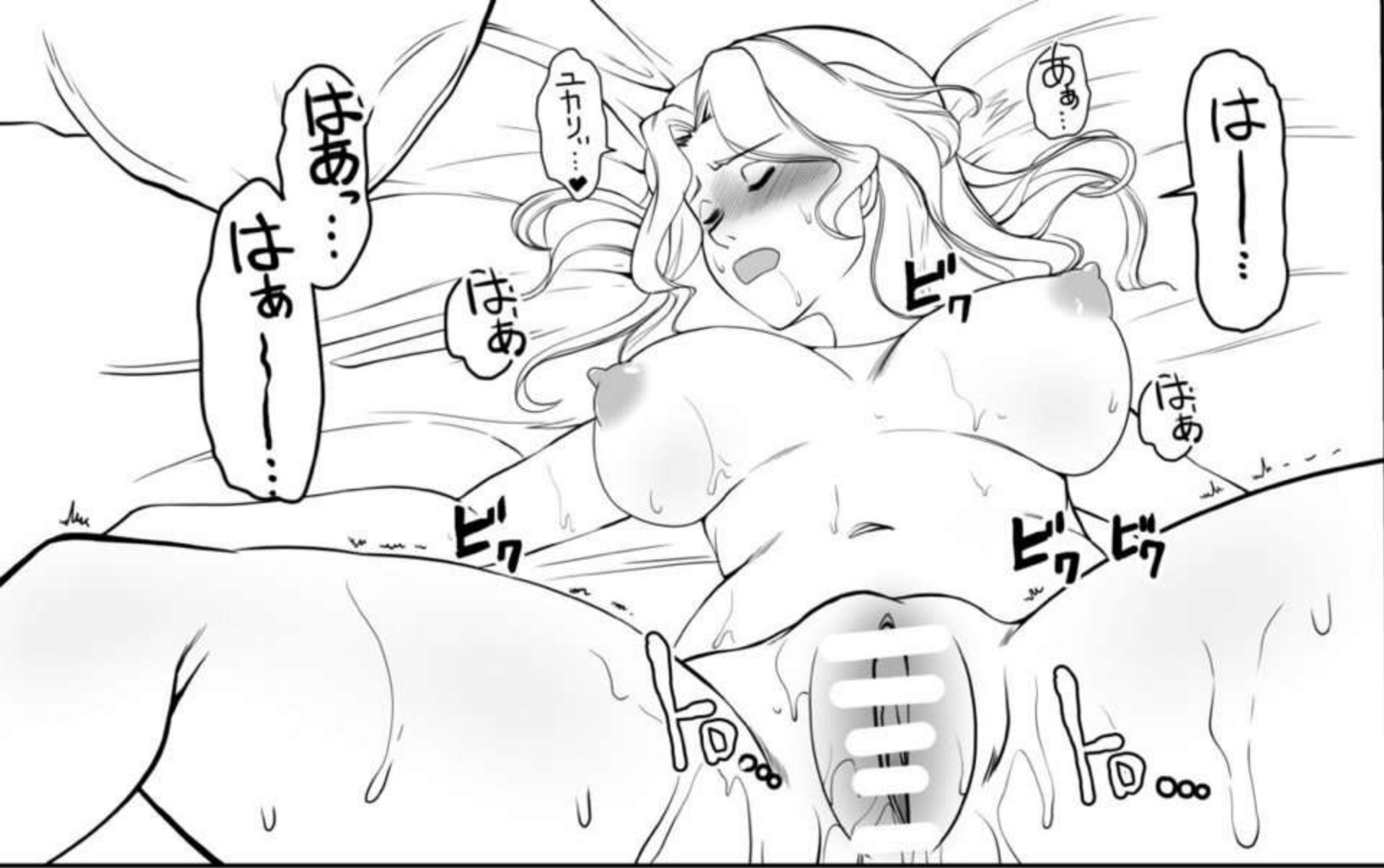
あ…♡

イク♡

ちゅ♡

ア…♡







サンダーズの女王蜂が



こんな田舎の  
戦車オタクに  
負けるわけがない



それを証明したくて  
何度も挑戦した

けれど



ベッドをびしょびしょに  
するのは決まってる  
私だった

まるで心の中で

負けることを  
望んでいるみたい…？

今から3つ数えると  
目が覚めます

でも

私の命令は  
絶対に忘れない  
そして…





自然な状態に戻る  
何も変えなくていい

ケイさんは自分から  
私のもとに通います  
明日は一日中愛し合います

十まで数えることが  
できる…すぐに自分を  
取り戻す…

あふ…

あー…

あふ♡

じゅ…う…

あふ♡



ケイさん  
聞こえますか？

うん…♡

あなたの本当の  
気持ちを教えて

これから  
どうしたいですか？

ぽー…

んっ



はい  
目が覚める

自分の気持ち  
はつきりと分かる

ぽんっ



もっとお…♡  
ずっと一緒がいい…

今すぐ  
いっぱい愛して…

くだ…さ…

かあ♡

かに

かに

私の従順なペット  
ケイさん

いい子です





体中を羽毛が  
這い回ってるみたい

どうしたら  
こんな

上手くなれるの…!?



吸っちゃ…

アッ



えっ!?

うそ…!

ダメ♡  
ダメえ♡

ユカリ…!?



れるれる  
れるれる

クリ♡に舌ビンタと  
入り口引っ掻き♡

上手♡過か

るるるるるるるるるる♡

アッ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡



ん  
んむ...

ちゅぽ  
ちゅぽ



ム  
グ

ぷは

大  
お  
ハハハハハ



聞こえますか

ぷる...

ブ...

ケイさん

えへ...

あはあ...

ぷる...

ム  
グ

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

ぷる...

ぷる...



あなたは体の疼きが止められない

もうどうしようもなくて  
私とのセックスが  
欲しくて欲しくて仕方ない

Ah...

自分からはしたなく  
おねだりする

全然恥ずかしくない

と...お...ん



わた...しの...  
弱いところを

いっぱい...  
しゃぶってえ...

天国までイカせて  
ユカリい...♡

そう...ケイさんは  
喜びを我慢できない



どうしてほしいですか?  
ケイさん

あっ♡  
欲しいよ...



あはっ♡

ニギ...♡

して♡  
してえ





あなたは自分の魅力を  
知っています

私のためにもっと  
綺麗になりたい

私を喜ばせることが  
あなたの最高の喜び

あへ

スッ...

スッ...

スッ...

スッ...

あっ

あっ

な...る  
なりま...さ

ユカリ...♡



イ♡く...

それ好きっ  
先っぽ♡の皮っ  
むいてっ♡  
いっぱい舐めてっ

クリでっ

ぶるぶる

何言ってるの私  
口が勝手に...!?



いきますよ  
ケイさん

ひんっ♡

あーん

むき



どり

どり

ひっ!?

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅるるる





キモチいい

あ♡

イキたい

あッ

イキたい

逃げられない

絶頂する

私の目の中に  
スーツと吸い込まれる

ケイさんは私が  
欲しくてたまらない

ほしい…

ユカリが

私の声は  
貴女の心の声

…はい

グッ

グッ

ほしこ…

ほしこ…

グッ

グッ

キモチいい

とん

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



全てを捧げたくて  
もうたまらない

欲しい 欲しい

しい...

欲しくて  
狂ってしまいそう

そう...

名前を呼ぶたびに  
興奮が高まる

ちゅっ...♡

ぬっ...

くっ...

心を開いて  
私を近くに感じて  
強く愛されているのを

感じて...

とても特別な  
気持ちになってほしい

はっ... はっ...

はっ... っ...

はっ...

ちゅっ...

私も

あなたが欲しいです

ぬっ...

ちゅっ...



れ…？

あ

え？  
今確かに…



目がすーっと  
吸い寄せられる

ほら…エツチな瓶の  
口をじつと見る



ケイさんは今  
催眠状態

私の言葉でもっと深く  
コントロールされます



私…ユカリと…  
あれ？え？



決して目が離せない

興奮する  
もっと興奮する

この瓶はすごくエッチ  
すごくいやらしい  
今まで見たことないくらい

ブルブル...

は... は... は... は... は...



もう見てるだけで  
イツちゃう

ほら もうイク  
イクよ

あ あ ふ わ

ケイさんは...

イク♡いぐ♡

イツ...ぐうぐうぐう...

ガク

ガク

ガク



あ...ダメ...

!

口の中全部

ん♡

ちゅわん

ちゅわん

うっ♡  
うめん♡♡

きもちいい...よお...

ん

ん

ん



はっ

あなたは人生を変える準備ができています

私はあなたに影響を与える



私はあなたに命じることが出来る



私のタッチが

好きだと  
言ってください

すっ...



安心して

あなたは今最初の一步を踏み出しました

とても安らいだ気持ち  
全てを私に任せる



次に目を開けると  
ケイさんは

私のことが好きで  
たまたまなくなります

ふる...





胸がドキドキする

否定しようと  
すればするほど

私との  
運命を感じて...

ドクン

ああ...

ユカ...

う...

ドクン



はあ

はあ

ドキ...



すう...



私もですよ

はい

うわあ

あはあ...

ドキドキ

ん!

エロエロ...



あ

はあ

ん

あ

はあ

ん

あ

はあ

ん

あ

ん

あ

ん

あ

ん





はあ…♡

イカせてえ…  
おねが…い…!!

私のエネルギーが  
ケイさんの中に

どんどん  
入っていく…



ぷるん

はっ♡…

ああっ!! あっ!!

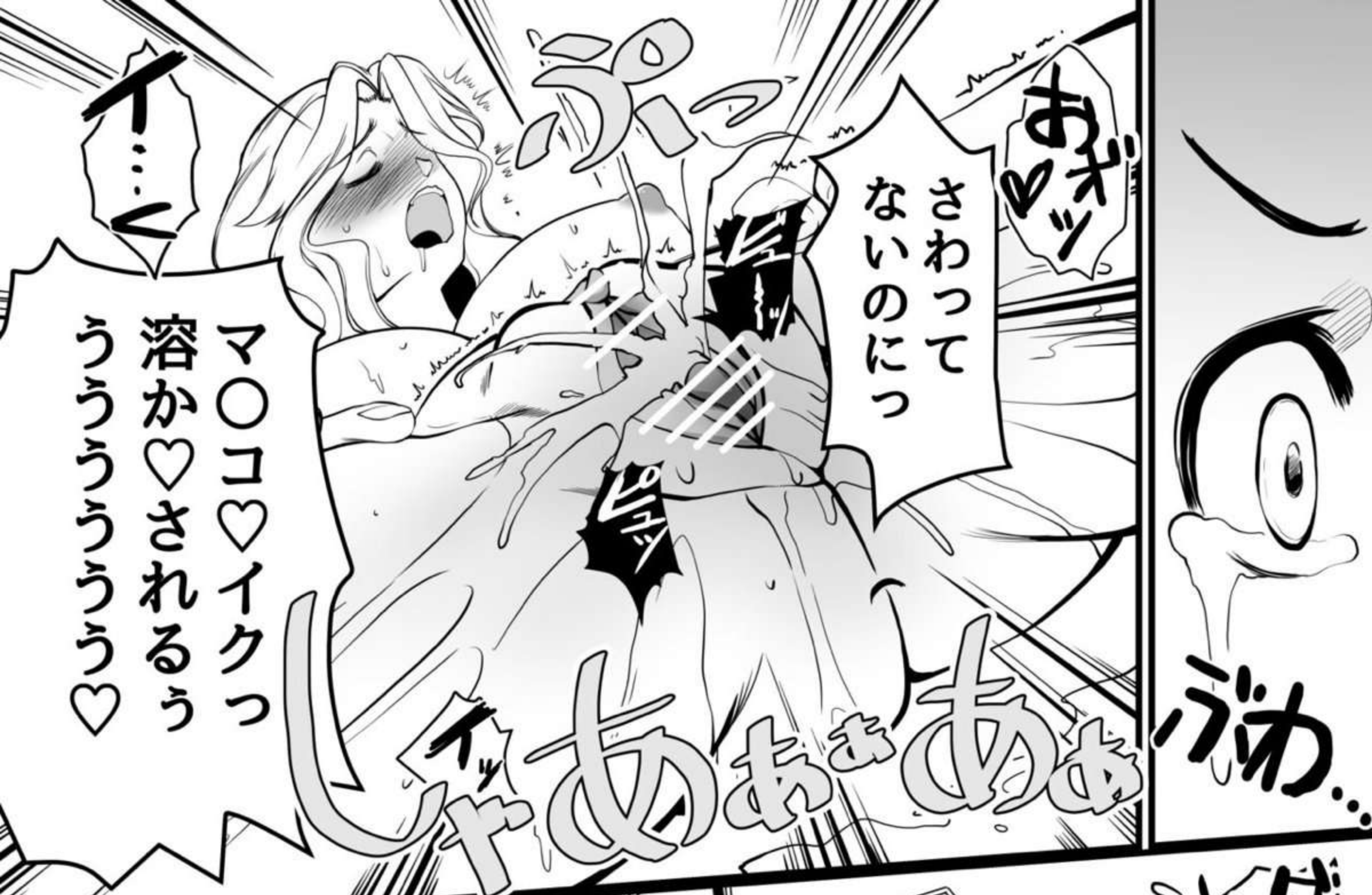
感じてくたさい  
お腹に向けて  
熱い波が流れるのを



今から私達は  
ひとつに溶け合う  
それは

どんなセックスより  
気持ちいい

はっ♡



あ...  
あ...  
あ...

さわって  
ないのじっ

あ...  
あ...

マ○コ○心○イクっ  
溶か♡されるう  
うううううう♡

あ...  
あ...  
あ...  
あ...  
あ...



体の快感に  
限界があっても

あ...  
あ...  
あ...  
あ...  
あ...



まだイける  
もっともっと

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...

精神世界の絶頂は  
無限です

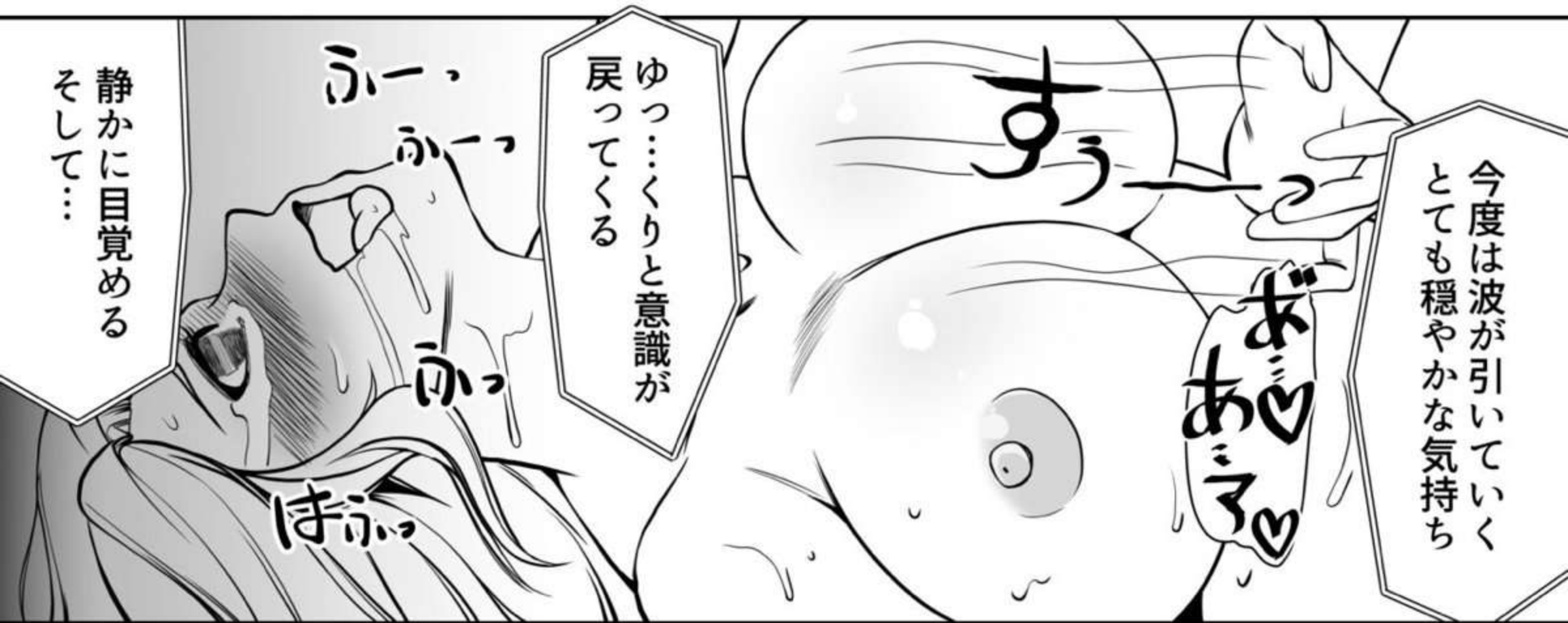
脳は無限に  
イクことができます

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...

あ...  
あ...

あ...  
あ...





3つ数えると  
我慢していたものが  
一気に吹き出す

いっ…いや…

いっぱい  
おもらししながら

イク

またイグう…!!

いやっ…  
おもらしなんて…









ケイさんの  
すごく…熱い

いやあっ

はいっ

ああっ  
ユカリっ

私…とピッタリ  
擦れ…あう

すごい波が来る…  
もうそこまで来てる

イメージ…  
してください

すごい…

熱くて  
柔らかくて

ああ…



こんなに感じさせるのは

もう欲望を抑えきれない

私だけ



私の行為は全てあなたを興奮させる

あなたは狂ったようにそれを欲しが



あなたは私の催眠が大好き

言ってください

は...わ...

わたっ...しはっ

がっ...



ケイさんは  
催眠に落ちるの大好き

いつでも 催眠に落ちる  
絶対に抵抗できない

しゃ…き

うっ

ムッ  
ムッ



ケイさんは  
この快感が忘れられない

これ大好き♡催眠かけられて  
ユカリのために  
いつぱいイクっ またイク

これ好きい だいしゅきい  
負けるのクセになつひゃ♡

ぶるんっ

負けイキ教え込まれた  
負け癖マシコお  
すぐ負けひやうのお♡

こんな気持ちいいの  
絶対忘れられない  
忘れるわけがない

ふっふっ

んっ



落ちる…落ちる…  
夢の中で溶けていく…

快感が  
効いていく…

きっ

効く…うっ♡



アホ

ひゃん



あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ

あは...  
あは...

私の…全部…♡  
好きにして…

わらひを…  
ユカリだけの…

従順なメスにしてえ…  
めいれい…して…

いぐ…イツてる…♡  
うつつうつつ

失神しても  
私の声は聞こえます

あなたの意識の奥深く

いつも私がいます…



ユカリ…ユカリ…  
めいれい…して…めいれい…

わたし…ユカリが喜ぶなら…  
なんでもしゆる…

わたしは…なんでもするのお…  
なんでも…

こうしてケイさんは  
幸せな夢の中で  
飼われ続けるのでした。

**HAPPY END**

「ゆかケイ催眠ミッション」  
発行：トラペゾヘドロン  
(ヒマドル)  
Twitter  
@eljimadoor  
2022.10

**転載  
禁止**

無断転載・複製・複写・  
Web上へのアップロード禁止



恐縮です  
えへへ…

優花里さんなら  
できると思ってたよ



上手くいった  
みたいだね

私に任せてくださった  
信頼は裏切りません！

はい！西住殿の  
作戦は完璧です！



でも

うんうん…



うはあ！  
西住流のヤキモチとは  
何たる僥倖…

あんまり夢中になっちゃ  
だめだからね？



「私の  
優花里さん」



私は…の…

ペット…

ほお…

優花里さんは  
誰のものかな？



ふっふっ…



私は…西住殿の  
ペットです…

そう  
優花里さんの一番は私

私の一番は西住殿…

絶対忘れられない

絶対…忘れ…ない…

ふっ  
ふっ  
ふっ

優花里さんは  
催眠に落ちるの  
大好き

いつでも  
催眠に落ちる

すぎ…

ちる…

絶対に  
抵抗できない…

Fin.